

VERTEX Information

施工事例集

～小規模橋梁 橋梁地覆部の補修事例～

ASモルタル工法



施工前



施工完了

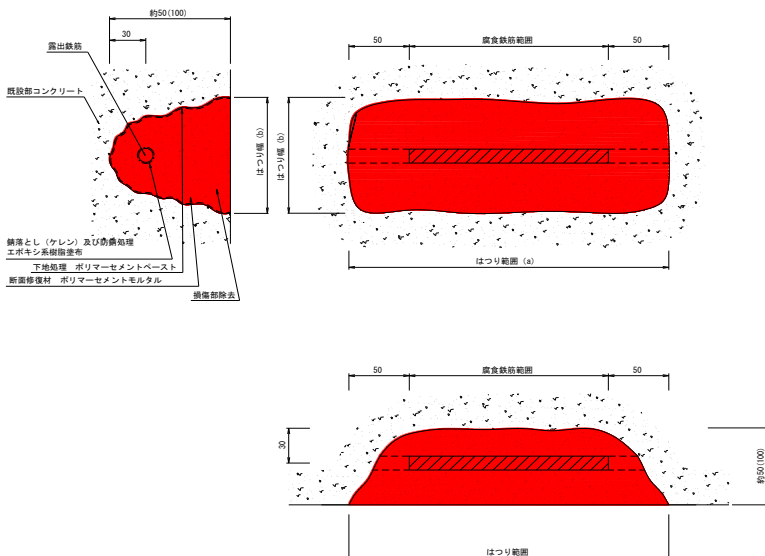
対象構造物	小規模橋梁	劣化・変状	鉄筋露出・断面欠損・浮き・ひび割れ
目的	構造物補修対策	施工時期	平成29年12月
採用工法	ASモルタル工法+ひび割れ注入工法	工法仕様	ポリマーセメントモルタル:t=100mm ひび割れ注入:w=0.2mm~5.0mm
施工数量	断面修復:A=0.75m ² ひび割れ注入:L=80.82m		
採用理由	<p>橋梁における、鉄筋の腐食や凍害、ASRにより欠損したコンクリートの修復、劣化因子である二酸化炭素、塩化物イオン等の浸入抑制を目的とし、断面修復工法(ポリマーセメントモルタル)、ひび割れ注入工法(エポキシ樹脂系)が採用された。</p> <ul style="list-style-type: none"> ① 既存構造物との一体化(接着性)に優れる ② 劣化因子の遮断性に優れ、部分的補修による構造物の要求性能回復(長寿命化) ③ プレミックスタイプでかつ厚塗りが可能なため、作業性が良く工期短縮が可能 		

断面図等

【標準施工要領図】

断面修復工補修要領

ひび割れ注入工補修要領



施工手順



カッター工(断面修復工)



研り工(断面修復工)



防錆剤塗布工(断面修復工)



プライマー塗布工(断面修復工)



断面修復材塗布工(断面修復工)



シーリング工(ひび割れ注入工)



エポキシ樹脂注入工(ひび割れ注入工)



エポキシ樹脂注入工(ひび割れ注入工)

